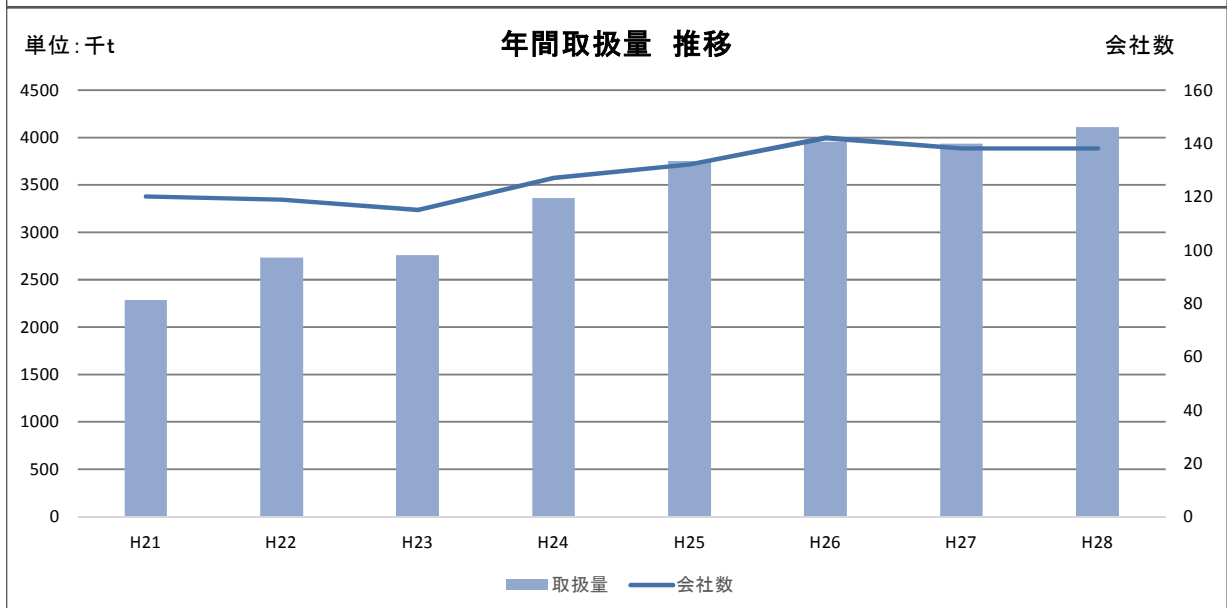
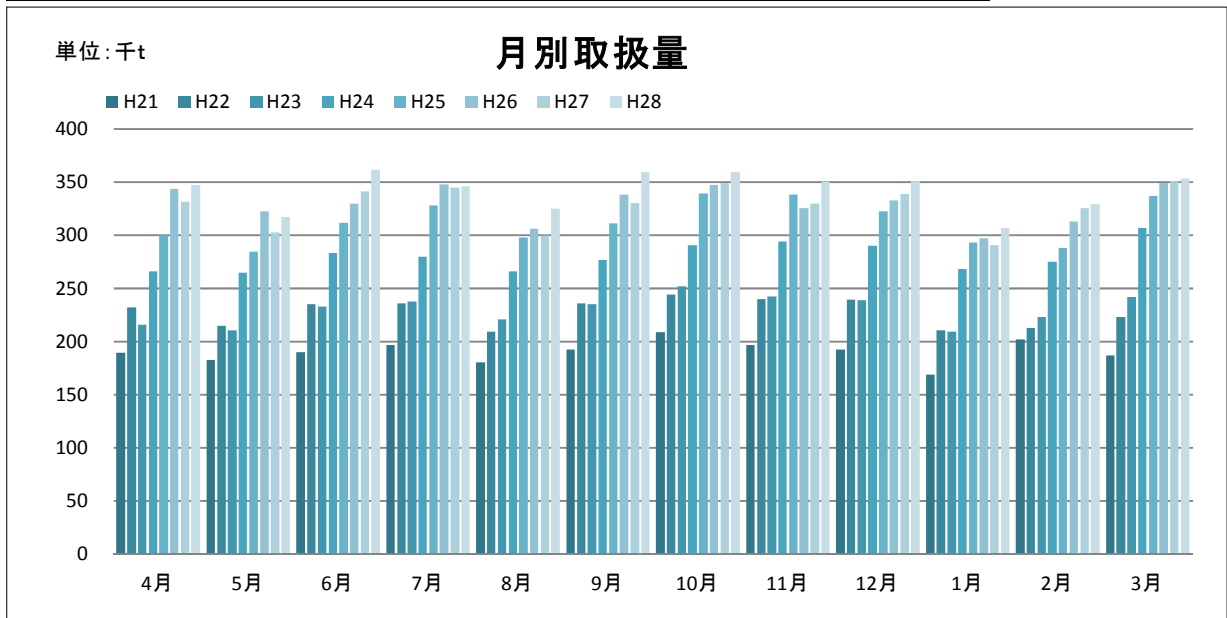


## 平成29年度木質チップ等生産会員実態調査結果

平成28年度各協会別 取扱量(出荷量) H28.4~H29.3 単位:千t

	北日本協会 46社	関東協会 52社	東海協会 9社	近畿協会 10社 (入荷量)	中四国協会 15社	九州協会 6社	合計138社
4月	61	157	55	42	5	26	347
5月	57	138	51	40	6	25	317
6月	65	159	58	45	7	28	362
7月	64	159	57	33	6	27	346
8月	59	142	50	40	6	27	325
9月	61	167	54	43	6	29	359
10月	59	166	56	44	6	28	359
11月	60	158	56	41	7	28	350
12月	62	154	57	42	7	29	351
1月	57	132	49	35	5	29	307
2月	59	144	51	39	6	30	329
3月	55	162	57	42	7	30	353
合計	721	1,837	651	484	74	337	4,104

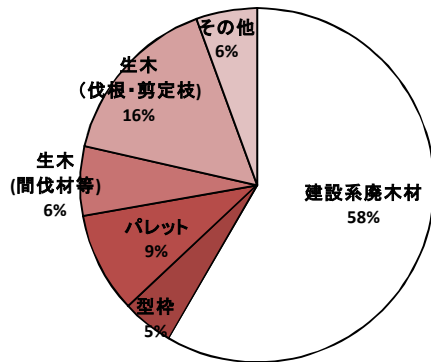


全国木材資源リサイクル協会連合会地域協会会員品目別取り扱い量(H28年度) 単位:千t

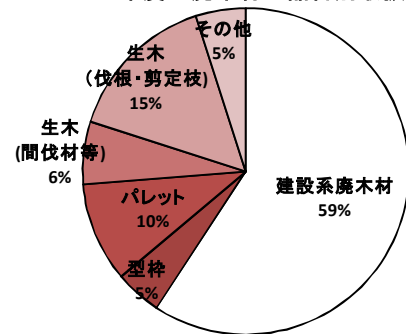
	北日本協会	関東協会	東海協会	近畿協会	中四国協会	九州協会	全国
有効回答数	36	36	9	7	8	6	102
建設系廃木材	262	875	422	336	37	182	2,114
型枠	19	74	27	32	4	13	170
パレット	37	141	67	45	9	37	334
生木 (間伐材等)	140	40	24	5	11	9	229
生木 (伐根・剪定枝)	123	255	69	30	7	93	576
その他	44	147	7	2	1	1	202
合計	625	1,532	615	450	68	335	3,624

入荷量より算出

H28年度の廃木材の品目別取扱割合



H27年度の廃木材の品目別取扱割合



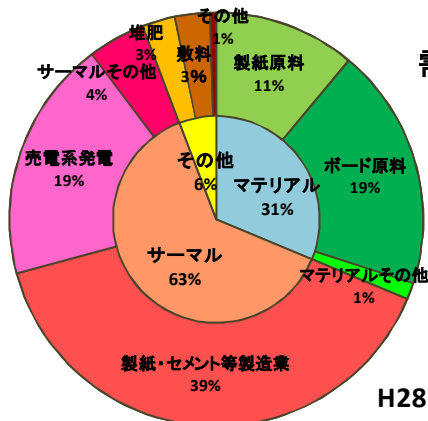
生産割合について(H28年度)

単位:千t

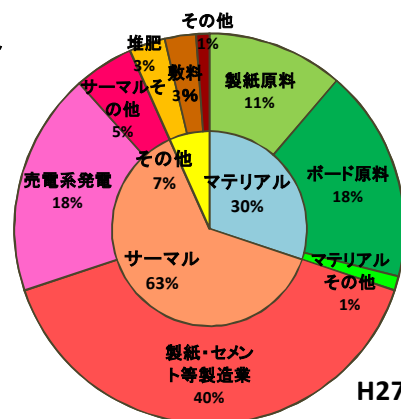
	北日本	関東	東海	近畿	中四国	九州	合計(全国)
有効回答数	36	36	9	7	8	6	102
全体量	563	1,531	651	464	63	337	3,608
製紙原料	75	54	136	121	14	0	399
ボード原料	102	251	59	148	13	109	683
その他マテリアル	0	4	0	31	9	3	47
製紙・セメント等製造業	275	612	374	71	7	87	1,425
売電系発電	48	500	7	43	10	75	683
その他サーマル	22	0	47	42	7	43	162
堆肥	16	54	12	8	1	2	93
敷料	24	54	10	0	0	11	99
その他	0	4	5	0	1	8	18

出荷量より算出

需要先の生産割合

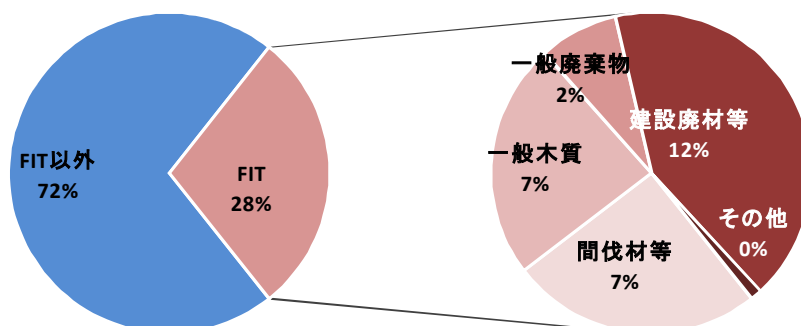


H28



H27

## 売電系発電への販売現況



単位:千t

合計(全国)	
有効回答数	45
FIT以外 計	425
FIT 計	170
間伐材等	43
一般木質	41
一般廃棄物	14
建設廃材等	71
その他	2
<b>合計</b>	<b>595</b>

### メーカー又はユーザーへの要望事項

- ・1年を通じて、安定したチップの受け入れをお願いしたい
- ・協会で現在作業進行中の「適合チップ認定のためのガイドライン」の策定作業がメーカー&ユーザー協力の下、今年中に速やかに完成することを希望する。
- ・安定的搬入が出来るよう改善してほしい。
- ・木質チップが飽和状態になってしまった現状では故障ないボイラー等の操業に期待しています。
- ・行政の処分場における木くずの保管状況への指導が厳しくなる中、需要家の原燃料の使用状況の変化に対応が困難になっている。安定した流通のための仕組みづくりを望みたい。
- ・定期修繕の間、材の受入停止をやめて頂きたい。処理業者は顧客からの受入を停止できません。

### 連合会への要望事項等

- ・安定した出荷先がなく、困っています。出荷先を紹介して頂きたい。
- ・北日本木材資源リサイクル協会のバイオマス施設見学の開催ありがとうございました。多くの会員が出席されたことは、それだけ皆様が興味を持たれていることだと思います。従って、引き続き施設見学の開催をお願いします。
- ・協会に加盟していても会費に見合うメリットが無い(電話にて)
- ・古い家屋の解体時の樫(かや)は、産業廃棄物にならないのか？現在一般廃棄物扱いなので困っている。
- ・全国規模で、連合会メンバーの廃木材取扱量が80%以上になるくらいまでの協会メンバー確保に努められては。今後ますますFIT対応木質燃料チップの需要が増加する中、対行政・国への発言力を強化し、言うべきことが言える団体にしたい。
- ・国策(FIT制度)に行政(循環型社会推進基本法及び廃掃法)が歪められている。国に対して制度と法令の整合性・公平性を求めて欲しい。
- ・チップ需要業者・チップ物流業者 の連合会(協会)への勧誘活動の促進を希望致します。
- ・FIT発電向けへの材の管理を具体的に行ってください。既取引先への営業は止め、廃棄物と林地残材との線引きを明確にしてもらいたい。不正を行った業者への罰則を強化してもらいたい。
- ・災害時に発生した廃木材チップの利用先は、ほぼバイオマス利用に限られます。熊本震災に続き九州北部豪雨 今後も何時、何処で起きてもおかしくないと思います。よって、積極的にバイオマスボイラーユーザーが使えるように、FIT価格を現行の17円材(一般廃棄物)扱いでなくもっと価値を高めた価格帯にするように国に要望してほしい。

### 合板型枠、建設廃木材・果樹剪定枝等の有価取引に係る最新の情報

- ・千葉県で破砕機導入 型枠を集める業者あり
- ・型枠処理に関して変化は感じない。建設系廃木材等の有価取引はこの地域では話は無い。
- ・東海地方の合板取引は商社が行う有償取引が現在も続き、従来の燃料チップ供給に影響を及ぼしている。商社から処分を委託された業者が、受け入れ基準を厳格化したため数量的には減少したものの、今後も継続されるとの情勢である。